

大震災に続き、昨今の領土問題。国難は続く  
◆「放射線測定機の市民貸出」今月から開始  
◆なでしこ日テレベレーザ選手が銀メダル獲得  
◆稲城なしのすけバイク用ナンバープレート交付

# 稲成起風



2012年(平成24年)9月11日  
発行：稲成会(鈴木誠後援会)事務局  
稲城市平尾2-77-1 TEL 090-2453-8382

http://inagi.info

## 「iバスの観光への活用方法」を模索し コミュニティバス先進自治体3市を視察



兵庫県三木市内を走るコミュニティバス「みっきいバス」と撮影

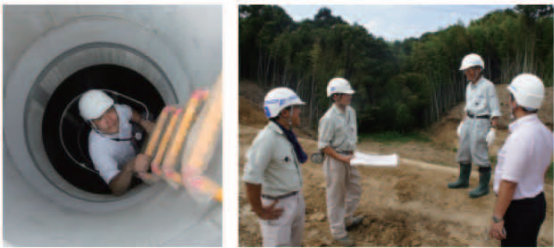
来年には多摩国体も控える稲城市では、稲城なしのすけ誕生などに見られるように昨今「観光関連事業」に力を入れ始めています。本年4月には商工観光係が発足、またiバスをもっと活用して本数を増やしていくと思惑も含め同課題に取り組んでおります。兵庫県三木市では温泉施設の入館料とバス往復チケットを併せて両方にメリットがある施策。同県明石市では細かい路地も入れるミニバスや、バスの利用者限定の地元商店街クーポン配布、複数あるバス路線を一目で見分けられるようにバ

あることを現地確認した点」「賛成・採択」陳情の内容全部を受け入れることになる点」を経て、陳情趣旨は理解できるが、丸飲みはできないと判断、反対票を投じることに致しました。しかし、衛生組合としては陳情が出ているため、市民不安を取り除くため必ずやるべきことがあると討論に立っておりません。詳細は<http://inagi.info/inariki-fsuiki201207.html>に掲載。稲城市都市計画審議会では南山東部地区と京王よみうりランド駅南地区、そして平尾中央地区について協議されました。現平尾団地を中心とした「一団地」を「平尾中央地区地区計画」に変更するという内容でした。これを足がかりにインフラ面での平尾地区再興を訴えて参ります。



漫画「天上の虹」ラッピングされた稲原市の例(上)、ミニバスも併用している明石市(下)

## 上平尾土地区画整理の工事状況を見る



開発が進んだことで、平尾谷奥に湧く「鶴見川の源流」が露わに(右)。雨水が流れ込む地下貯水池に潜入(左)

現在、工事が着々と進んでいる「稲城上平尾土地区画整理事業」を限なく視察させていただきました。地下貯水池による水害の軽減、また平尾く若葉台間に積雪時も通行可能な道路が通るなど市民へのメリットが多い公共的的事业です。合算減歩率が5割近くあるため土地区画整理組合員である土地所有者の方々には負担がかかっています。稲城の高度発展のためにも円滑な事業推進が求められます。

九月議会  
平成24年第3回定例会議が開会中。今回は陳情が8件(南武線高架下利用、iバス早期増便、災害ガレキ広域処理等)出ており、また平成23年度分の決算特別委員会もあります。採決は9月28日金曜日午前を予定。

## 災害ガレキ受け入れ&平尾団地を地区計画に変更

7月に開かれた多摩川衛生組合議会に、『災害ガレキ広域処理に関する陳情+放射性物質を含む家庭ごみ等の焼却に関する陳情』の2件が提出されました。これを受けた組合議会は陳情処理経験が無い問題を露呈し、議事進行に混乱が生じたものの賛成4、反対11で不採択。私自身も「福島原発周辺ではなく遠い宮城のガレキである点」「女川のガレキ選別場の徹底した管理及び基準値以下で



3回に渡る放射線測定を経て、コンテナに詰められた災害廃棄物(津波によるガレキ)・女川町にて

## 10月1日より多摩川衛生組合への女川町災害廃棄物受け入れが開始

あることを現地確認した点」「賛成・採択」陳情の内容全部を受け入れることになる点」を経て、陳情趣旨は理解できるが、丸飲みはできないと判断、反対票を投じることに致しました。しかし、衛生組合としては陳情が出ているため、市民不安を取り除くため必ずやるべきことがあると討論に立っておりません。詳細は<http://inagi.info/inariki-fsuiki201207.html>に掲載。稲城市都市計画審議会では南山東部地区と京王よみうりランド駅南地区、そして平尾中央地区について協議されました。現平尾団地を中心とした「一団地」を「平尾中央地区地区計画」に変更するという内容でした。これを足がかりにインフラ面での平尾地区再興を訴えて参ります。



都市計画審議会協議された平尾団地の遠景

「医師不足」等、昨今の稲城市立病院に対する市民の不安を受け、北井稲城市立病院院長を訪ねて会談して参りました。先般オープンした健診外来棟や健康プラザを軸に、病院各科の拡充を実施し、市民サービスを高めていくこと。そして懸案事項となっている医師

## 「稲城市立病院再建」に向け 北井院長の意気込みを伺う



今年度より稲城市立病院院長に就任された北井啓勝先生。産婦人科の先生としても稲城っ子に関わり参ります。稲城市立病院院長を訪ねて会談して参りました。先般オープンした健診外来棟や健康プラザを軸に、病院各科の拡充を実施し、市民サービスを高めていくこと。そして懸案事項となっている医師

不足に関しては、今年10月に増員できることが決まり、また来年4月に向けてさらなる医師人員の確保を進めていることが判明。病院経営の黒字化も含めて努力していく姿勢が強く感じられました。病院への交通網が悪い点は市議会において私も鋭意取り組んで参ります。

現地の声を聞き歩く  
以前より進めて参りました、平尾小学校への防災資機材導入が先月8月を持って完了致しました。また、同時に

災害用深井戸も整備され、平尾地区の防災拠点機能を強化できました。ご意見を下さった方々、また推進にご協力いただきました方々にこの場をお借りして御礼申し上げます。ふれんど平尾利用の方から、校庭隅にある倉庫のブロックガラスが割れて危険とのご連絡を受けました。現在の改修工事に併せて修復強化するよう手配しております。以前より取り組んでいる平尾・川崎市境の遊歩道が通行禁止になっている件では、転落防止フェンスの設置が完了しました。開通まであと一押しです。



いたずらで割られた倉庫のガラス



# 鈴木誠の一般質問&結果

平成24年  
第2回定例会

一般質問は  
議会として

のチェック機能に並び、色々と現況改善や新規提案ができる機会です。

「批判するだけ議員」「言いっ放し議員」にならないよう、政策提案並びに進捗確認を心掛けて参ります。

## ◆空き家・枯れ草火災対策(結果○)

空き家や民有地の枯れ草など火災の危険性にどう対処しているか質問。高齢者世帯を中心とした住宅防火診断実施に併せて、稲城市火災予防条例第25条(空き家規定)に則り所有者に対して枯れ草刈り取り指導等の改善通知を行なっているとの回答。

在宅の個人住宅には、現在の条例では勧告等が行えない点を指摘し、どのように対処するか問うと、集合住宅には指導も可能だが戸建住宅には火災予防の広報徹底しか出来ない」と回答。条例改正も必要だが、現時点では市民相談毎に対応策を講じるように要望した。

## ◆平尾小学校防災備蓄について(結果○)

平成23年第三回定例会で要望した平尾小学校への防災資機材及び災害食糧備蓄について進捗状況と何をどれくらい配備するのか質問。本年8月頃の学校夏季休暇の間に搬入し、その内容は発電機や生活用品セット、食糧(粥食分など避難所生活に足る物資である)と回答。また今回の備蓄に併せ、同校内に災害用深井戸の設置も進めている。土日祝日や春・夏・冬季休暇にも避難所開設ができるよう鍵管理方法等にも言及。

## ◆坂浜・平尾地区への生垣造成補助(結果○)

平成23年第二回定例会にて「地震時に倒壊危険があるブロック塀を生垣に変えるための補助」が坂浜の弦巻・於部屋・堂ヶ谷戸・寺の台・内山などを含む坂浜西地区地区計画、平尾宅地分譲の平尾台西地区地区計画の両地域に適用されない不備を指摘、その後の検討結果を質問。現在、平尾台西地区や坂浜西地区は補助金対象外となっているが、大谷石などのブロック塀

が各所に残っており、防災上好ましくない状況。これら既存の地区に後から地区計画制度を導入した地区計画区域内については、補助金の交付対象とする方向で検討を進めていくとの回答。

## ◆P3(特定規模電気事業者)導入の件(結果○)

本年3月のP3導入決定から現在までの成果と問題点について質問。まだ契約してからの期間が短いことと、昨年同時期は大震災による停電等の影響で単純比較出来ないが、一昨年と比べても導入した文化センターでは金額にして数%の軽減がみられ、今後の東京電力値上げが実施されれば導入効果はさらに高まるとの回答。また、今回の契約では市庁舎等には入札がなかった点を踏まえ、より一層のP3導入を要望し、早期導入できるよう努力するとの回答を得た。

## ◆太陽光発電と貯電電機への導入検討(結果△)

市内公共施設における現状の太陽光発電設備の設置状況と発電量を質問し、さらなる太陽光発電の設置を要望し、今後も新築ならびに改修工事が予定される小中学校を中心に設置を推進していくと回答を得る。また前回定例会で取り上げたP3(バイオエーゼル・家庭用油の廃油から精製されるエコ液体燃料。稲城市社会福祉協議会がふれんど平尾にて精製)を活用しての発電も可能ではないかと提案。現状では安定供給などの面から難しい、可搬型発電機等への応用を研究するという回答に留まった。

## ◆市内歩道の整備・改善について(結果○)

iバスの充実にあたっては道路幅と共に、市民の安全を守るために歩道整備が必須である旨を指摘、しかし歩道を設置すると道路幅員が圧迫され、iバス通行が不可能になると回答。すでにペアリーロード等で実施されているような道路面の色分けによる歩行帯と車道の視覚的分離を提案、この方法を含めて各地の実状にあった整備を推進していくとの回答を得た。

## ◆市内バス交通機関の拡充について(結果△)

下平尾地区、特に美望会近辺は交通不便地域に該当し、今年オープンし注目を浴びる稲城市立病院健診外来棟・健康プラザへのアクセスも

悪いため、早急にiバス等を中心としたバス交通機関の改善を図るべきではないかと指摘。

iバスの目的である、交通不便地域の解消や高齢者・交通弱者の社会参加の促進、稲城市域の交通の一体化を図り、今後判断すると回答。

## ◆「福祉センター」バス停の移動要望(結果○)

同バス停が福祉センターとは尾根幹線道路を挟んだ反対側にバス停が設置されており、足の不自由な方などに負担となつている点を指摘し、バス停を道路の反対側へ移設することを要望した結果、尾根幹線道路の歩道整備が進められることが発覚。それに併せてバス停の移転、設備を整えることを重ねて要望し、今後、東京都側と協議していく旨の最終回答を得た。

## ◆平尾古民家の市民開放と活用方法(結果○)

現在、年2回しか一般公開されていない平尾古民家について、市民団体等に貸出し活用しながら保存を図るべきと提案。トイレ・目隠しの設置、常駐管理人や除草などの面があり難しいとの回答。管理等は地域ボランティアを募ったり、アダプト制度の活用もできるのではと提案を重ねた結果、今回の質問を踏まえ開放に向けて調整していくと前向きな回答を引き出した。

## ◆上平尾・小田良土地区整理事業の周辺整備(結果○)

平成27年度中に多3・4・17号線を開通させるには三沢川の改修をせねば、現在の学園通りのような仮設橋になるのではと指摘。三沢川改修計画はまだ先だが、今年度内に東京都側において環境調査と橋梁形式の検討をするとの回答。

## ◆川崎・稲城市行政間の連携強化(結果○)

上平尾と川崎市間の接道状況について質問。地区外道路整備・造成協力など川崎市等と協議を行ない、一昨年より川崎市まちづくり関係部局と稲城市都市建設部で定期情報交換会を実施していると回答。市長会談を設けるなど、更なる行政間の連携強化を図るよう強く要望した。

## ◆その他「市内バス運転の安全性」「長峰・南多摩間の通勤通学時間帯バス増加」「若葉台1プラザの利用料金体系見直し要望」など本紙都合上、掲載できなかった質問については議事録・HP等でご確認ください。

## 編集後記

前回の編集後記で「ご連絡いただけばどこへでも駆けつけます」と掲載したところ、8件ものお問い合わせをいただき、有意義な意見交換会も実施出来ました。実際に現場を見る、想いを対面で伺うことで課題がより明確になります。今後も遠慮なくご連絡いただきますようお願い致します。

鈴木誠 090・2453・8382

平成24年度の平尾盆踊り大会が盛大に開催されました。構建てから当日の運営、後日の片付けまで、自治会を中心に大変多くの方々が地元を愛し盛り立てようと身体を張って活躍する姿に強く感銘を受けました。先日には平尾地域防災訓練が実施され、今月末には稲城市総合防災訓練や杉山神社例大祭がございます。まだまだ残暑厳しい中ですが、友人お誘い合わせの上、是非とも地元行事に奮ってお出掛け下さいませ。

最近、領土領海問題、北朝鮮による拉致問題をはじめ、国政についての見解を聞かれる機会も増えて来たなど感じています。私のような若輩が何を答えられるわけではないですが、「地方議員だから国政は関係ない」なんてことは絶対に言いません。稲城に住む一人の国民として、市政の土台となる国政に対して意志を示していきたいと考えています。どうぞ皆様のご意見をお寄せ下さい。E-mail: inari-kai@inagi.info



## 《6月～8月の活動日数報告》

公務(本会議・委員会・審議会・公的視察等)26日、議員活動(市民相談・会派視察・研修・式典出席・資料作成・打ち合わせ等)31日、地域活動(自治会・消防団・青年会議所・奉賛会等)72日。同日内の重複もありますが、活動日数は3カ月92日中86日。今季は消防操法訓練があったため、やや地域活動日数が多め。休日6日間は法事@山形、風邪による休養など。

詳細は「いなぎ暮らし日記」にてご覧下さい!

稲城の誠 検索 <http://inagi.info>

稲成会(鈴木誠後援会)では会員を随時募集しております。年会費無料。鈴木誠を応援して下さる方、「稲成起風」を毎月読みたい方、御連絡お待ちしております。メール問い合わせ先: inari-kai@inagi.info